

## 標準委員会 第40回基盤応用・廃炉技術専門部会議事録

1. 日時 2018年08月31日（金） 13：30～16：00

2. 場所 5東洋海事ビル A+B会議室

3. 出席者（敬称略）

（出席委員） 萩原（部会長），堺（幹事），石川，伊藤，北島，坂本，佐々木，佐田，田中（健），田中（正），日比，松本，宮坂，吉田（14名）

（代理委員） 中島一夫（関西電力／平野代理），安藤浩二（日立GEニュークリア・エナジ／木藤代理）（2名）

（欠席委員） 岡本，張（2名）

（委員候補） 増田（東京電力HD）（1名）

（説明者） 【放射性遮蔽分科会】平尾幹事，【標準活動基本戦力タスク】用語辞典 WG 田中正暁委員，【基盤応用・廃炉技術専門部会】萩原部会長（3名）

（事務局） 中越，田老，谷井（3名）

4. 配付資料

ATC40-0 議事次第

ATC40-1 前回議事録（案）

ATC40-2 人事について

ATC40-3 「放射線遮蔽設計に用いる材料組成（コンクリート編）」の制定について

ATC40-4 分科会の活動状況について

ACT40-4-1 放射線遮蔽設計法及び廃止措置における放射線安全に係るワークショップ

ACT40-5 用語辞典 WG から基盤応用・廃炉技術専門部会所属の各分科会への依頼について

参考資料

ATC40-参考1 基盤・応用技術専門部会委員名簿

ATC40-参考2 標準委員会の活動状況

ATC40-参考3 基盤・応用技術専門部会出席実績

講習資料

ATC40-説明-1-1 標準委員会 行動指針の周知徹底活動 日本原子力学会の行動指針について

ATC40-説明-1-2 標準委員会 倫理規程の周知徹底活動 倫理規程の改定と狙い

ATC40-説明-2 日本原子力学会の行動指針

ATC40-説明-3 日本原子力学会倫理規程

ATC40-説明-4 標準委員会の活動基本方針

5. 議事内容

事務局から開始時点で委員18名中，16名の出席があり，委員会成立に必要な委員数（12名以上）を満足している旨，報告があった。

(1) 前回議事録（案）の確認（ATC40-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

(2) 人事について（ATC40-2）

事務局からATC40-2に基づき，専門部会及び分科会の人事について下記の提案があり，専門

部会委員の退任等が確認され、審議の結果、専門部会委員の選任等が決議された。

1) 専門部会

① 委員退任の確認

小野 文彦(東京電力ホールディングス)

② 委員の選任決議

増田 良一(東京電力ホールディングス)

③ 委員の再任決議

萩原 剛 (東芝エネルギーシステムズ)

堺 公明 (東海大学)

岡本 孝司 (東京大学)

吉田 啓之 (日本原子力研究開発機構)

日比 宏基 (三菱 FBR システムズ)

松本 昌昭 (三菱総合研究所)

坂本 幸夫 (アトックス)

宮坂 靖彦 (原子力研究バックエンド推進センター)

2) 分科会

① 委員退任の確認

【シミュレーションの信頼性分科会】

谷川 純也 (関西電力)

山口 彰 (東京大学)

【放射線遮蔽分科会】

廣内 崇幸 (東芝エネルギーシステムズ)

② 委員選任の承認決議

【シミュレーションの信頼性分科会】

江田 学司 (関西電力)

【放射線遮蔽分科会】

吉岡 健太郎 (東芝エネルギーシステムズ)

(3) **【報告】**「放射線遮蔽設計に用いる材料組成 (コンクリート編)」の制定について (ATC40-3)  
分科会代表者から ATC40-3 に基づいて、分科会の活動状況について報告があり、以下のような質疑があった。

Q:本標準が施工上のコンクリート組成に関する規定であるか?

A:セメント、水及び骨材に対する混合割合に対しては建築学会の標準書があり、本標準は遮蔽計算上の元素組成を対象とした標準である。

Q:事業者に依存するためステークホルダー間の調整が肝要だが十分か?

A:作業会にはゼンコン各社の関係者が参画しており、建築学会が原発の遮蔽コンクリートについて電力各社にアンケート調査を実施している。

Q:建築学会との連携はあるのか?

A:当初骨材の全国出荷量から平均的な組成を算出していたが、建築学会から実際に製作されたコンクリートの組成の範囲から評価すべきとの意見があり、拝承した。

Q:建築学会の講演会での発表の実績はあるのか?

A: 既に実施している。

Q: コンクリート編以外の標準の作成のスコープはあるのか？

A: 他の遮蔽材料及び廃止措置時の放射化を見据えたコンクリート中の微量元素を予定している。

(4) 【報告】分科会の活動状況について (ATC40-4)

1) 分科会代表者からATC40-4に基づいて、分科会の活動状況について報告があった。

放射線遮蔽分科会の活動として、廃止措置分科会と共催した放射線遮蔽設計法及び廃止措置における放射線安全に係るワークショップについて報告があった。

坂本委員及び田中健一委員から ATC40-4-1 に基づき、放射線遮蔽設計法及び廃止措置における放射線安全に係るワークショップに関する報告があった。6月26日に日本原子力発電株式会社の本店会議室で開催された標記WSには101名の参加があり、81件のアンケート回答があった。ほとんどの方がとても参考になるとの回答であり、関心のあった講演は廃止措置関連の活動と遮蔽コンクリートの組成の標準化であった。萩原部会長からは今後の分科会の動向としてアンケート結果を有効活用すべき、委員の方から質疑応答もまとめるようにとのコメントがあった。下期には、個別の分科会等でワークショップ・講演会を開催したいとの意向が示された。

(5) 【報告】用語辞典WGから基盤応用・廃炉技術専門部会所属の各分科会への依頼について (ATC40-5)

標準活動基本戦力タスク用語辞典WGの田中正暁委員からATC40-5に基づいて、標準委員会の用語辞典WGから各分科会への作業依頼について説明があった。各分科会への作業指示を明確にした上で、後日、基盤応用・廃炉技術専門委員会幹事から各分科会へ作業依頼メールを発信することとなった。

(6) その他

基盤応用・廃炉技術専門部会の萩原部会長より、専門部会委員に対して、標準委員会活動基本方針、原子力学会行動指針及び倫理規定等に関する講習会が実施された。

6. 今後の予定

今回は、2018年11月26日(月)13:30から

以上